

科目ナンバリング		U-LAS40 20045 LJ26							
授業科目名 <英訳>	身体運動学 Kinesiology			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 久代 恵介				
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)		使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
<b>[授業の概要・目的]</b>									
<p>身体の動きがつくられ上達していくしくみについて学ぶ。  運動の指令は大脳皮質でつくられ、脊髄を經由して筋を収縮させる。運動の結果は感覚器からフィードバックされ、中枢において評価と修正がなされる。これによりヒトは身体をうまく制御し、目的の行為を達成させている。本講義ではこれらの一連のハードウェア的要素について、神経科学、運動科学、スポーツ心理学の観点より解説する。さらに、一流スポーツ選手や指導者の取り組みに関するソフトウェア的要素にもふれ、運動パフォーマンスを向上させる方法についての知識と考えを深める。</p>									
<b>[到達目標]</b>									
本講義を通して、運動がうまくなるための幅広い知識習得を目指す。									
<b>[授業計画と内容]</b>									
<p>授業はフィードバックを含め全15回の実施を予定している。  毎回授業前半部では、一流スポーツ選手や指導者、競技団体における運動パフォーマンス向上の取り組みを紹介する。  授業後半部では、以下のトピックについて扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イントロダクション</li> <li>・脳神経系の概略</li> <li>・脊髄から運動指令が出力されるしくみ</li> <li>・脳において運動プログラムが生成されるしくみ</li> <li>・小脳による運動学習機能</li> <li>・運動の知覚と眼球運動</li> <li>・空間知覚に関与する中枢神経系機構</li> <li>・運動学習に関する諸理論</li> </ul> <p>(各項目につき1~2回扱う)</p>									
<b>[履修要件]</b>									
<p>運動科学、スポーツ科学に興味のある者の履修を歓迎する。  履修希望者が多数の場合は、抽選により履修制限を行う。</p>									
<b>[成績評価の方法・観点]</b>									
<p>毎回の授業時に提出する課題の提出状況と内容にもとづき総合的に評価する。</p>									
----- 身体運動学(2)へ続く -----									

身体運動学(2)

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

(参考書)  
授業中に紹介する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

前回までの内容を十分に理解しておくこと。

**[その他(オフィスアワー等)]**

**[主要授業科目(学部・学科名)]**